

科目名	国際社会福祉論 I					単位	2.0
担当教員	中神 洋子						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	

●授業のテーマ

地球規模で考える福祉（Well-being）と実践：私たちの生き方を問い直す。

●到達目標

- 1) 世界中で起こっている様々な問題に関心を抱くようになる。
- 2) 様々な現状を学ぶことで視野が広がり、異なった考え方や価値観、生活などが存在することに気づく。
- 3) 自然と人間が調和しつつ、平和で安全な生活を実現するための方法を考える力がつく。
- 4) 考えたことを、自分なりの方法で行動に移す力がついてくる。

●学習内容(授業概要)

人間の持つ内面的な問題から、貧困、内戦、テロ、地球の環境汚染の問題まで、巾広く話題を取り入れながら、その中に置かれている異なった国々や地域の人々、特に女性や子どもたちの問題や彼らの苦難、そしてその背景をグローバルな視点を持ちながら掘り下げる。少しでも平和で、安全で、健康で、幸せな生活を送ることができる為の条件や状況を考える。一人一人の人権が保障され、公正で、平等な社会、自分が自分らしく生きることができる社会の実現の為に、私達はいかにかわって生きるべきか、何ができるのか等を模索してゆく。

●学習内容(授業計画)

《前期》

- 1：国際社会福祉総論
- 2：『世界人権宣言』の意義と問題点
- 3：戦争・民族紛争・テロリズム～人はなぜにくしみ合うのか？
- 4：戦争の影響を受ける子どもたちと難民問題
- 5：平和とは何か～積極的平和と消極的平和
- 6：児童労働とは？～その実態と背景
- 7：児童労働各論（ストリートチルドレン、債務労働、児童買春・商業的性的詐取、農業労働、工場労働、家事労働など）
- 8：貧困とその背景
- 9：世界をむしばむドラッグ・人身売買・マフィアの暗躍
- 10：変化するそして多様化する「家族」の姿
- 11：家族に関連した様々な社会問題
- 12：「女性」に例をとる差別、不平等、そして暴力（例：D・V）
- 13：「男」とは、「女」とは何か（性同一性障がいの問題なども含む）
- 14：偏見と差別～「エイズ」「ハンセン病」などを例に
- 15：「世界ゲーム」で国際問題を考える～前期のまとめにかえて

●準備学習・事後学習の内容

準備：毎回の授業のテーマごとに、関連したニュースや周辺事情を下調べする。

事後：毎回のテーマに関するコメントやその他の感想をまとめ、提出する。

●成績評価方法・基準

各トピックスに対する個々人の活発な意見（60%）、前期の授業中に与える課題レポートで（40%）、総合評価する。

●テキスト（必携）

それぞれのトピックスに適した資料等を授業中に配布する。

●参考文献／その他

テーマごとに適宜指示

●履修上の注意

国際社会福祉論ⅠとⅡは、必ずセットで履修すること（ⅠとⅡは段階履修のため、Ⅱは、Ⅰを履修後、受講可能。受講年度が異なっても可）。

国際・社会貢献実践コースと関連の資格等を視野に入れている人は、必ず履修すること。